

一真会報

発行所 妙法山 雲雷寺
編集長 住職 伊丹瑞栄
編集員 執事 伊丹瑞廣

ご先祖様の精霊をお迎えしてご供養申し上げる、「うらぼんえ」の行事が訪れて参りました。当山では左記の通り、棚経にお伺いしご回向致します。また、新型コロナウイルス感染症影響による当山の動きに関しては、「緊急事態宣言等発令期間中の動き第二版」及び、今回同封の「お盆版」をご確認下さい。

本式・棚経(たなぎょう)

貴宅へは左記の日時にお参り致しますので、ご宝前を清掃し経木に志す霊位を書写し、お花・お供物等を整えて精霊をお迎え下さい。

八月 日 時 分 頃

※右記の日程は、皆様へのご案内時点での予定です。当日の状況により到着時間の大幅な前後がある場合があります。お許し下さい。

※日時が未記入の方は、僧侶がお伺いする予定が無いという表示になります。新たに棚経を希望される方は、お早目にお申し出下さい。

※今年度の棚経は、僧侶のマスク着用とアルコール除菌にて対策し、各ご家庭にお伺い致します。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もございませぬので、お伺いさせていただくかは各ご家庭のご判断を優先させていただきます。「今年度は中止」等のご希望がございましたら、お早めに当山へご連絡下さい。ご連絡がない場合は、右記の日程にてお伺いさせていただきます。

略式・お寺で棚経

様々な理由で棚経へお伺いする事が難しい方の為に、左記の日時にて「お寺で棚経」を合同法要にて致します。本堂のお席はソーシャルディスタンス形式となりますので、本堂のお席に限りがあります。ご希望の方はお早めに当山へご予約のお電話をお願い致します。

また、お越しいただく際はご供養される霊位などを書いた経木を可能な限り予めご用意下さい。経木は一枚百円(送料・手数料別)にてお送り致しますので、お早めに当山へご連絡下さい。

第一部	八月 七日(日)	九時	第五部	八月十一日(祝)	九時
第二部	八月 七日(日)	十一時	第六部	八月十一日(祝)	十一時
第三部	八月 七日(日)	十三時	第七部	八月十一日(祝)	十三時
第四部	八月 七日(日)	十五時	第八部	八月十一日(祝)	十五時

※当日お越しになられる際は、マスクを着用して下さい。アルコール除菌は本堂入口に設置致しますので、ご利用下さい。

※「お寺で棚経」は、ご自宅へお伺いする事が難しい方の為に行っております。その為、お越しになられた場合はご自宅へお伺いは致しません。予めご注意下さい。

※本堂のお席はソーシャルディスタンス形式となりますので、通常よりもお席が少なくなります。お電話をいただいた際には既に満席の場合がありますので、予め複数のご希望日をお考え下さい。

※本堂後列付近に経木を書くスペースをご用意しておりますが、例年よりもお席が少ない為、混雑が予想されます。可能な限り予めご注意下さい。

孟蘭盆施餓鬼会法要

お釈迦様の弟子である目連尊者が、餓鬼道に堕ちた母親の苦しみを救った由来を説いた「仏説孟蘭盆経」の経説によって始まった供養の法要です。海外から伝わってきた仏教思想と伝統的な宗教儀礼が結びつき、現在のお盆の風習が始まったと言われています。その孟蘭盆施餓鬼会法要を左記の日程にて勤修致します。新型コロナウイルス感染症の感染対策を行う中での勤修となります。

「緊急事態宣言等発令期間中の動き第二版」をご確認下さい。

八月十六日(火) 午後一時 一真会堂にて

子供会について

例年、客殿一階にて開催している「子供会」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とさせていただきます。

卒塔婆申し込み

同封のハガキに法号等を書いて早めにお申し込み下さい。卒塔婆一本につき二千円ご山納願います。お盆には実家のご先祖様や水子様、無縁の霊に対しても感謝の心を忘れずにご供養致しますよう。

尚、地球温暖化防止の一助として卒塔婆は墓地には建てず当山で保管し、申し込みの都度御供養させていただきます。ご協力下さい。

棚経運転の奉仕

今年も棚経にお上人の車を運転する方を募集致します。八月七日から十五日まで、都合の良い日にお手伝い頂ける方は、当山までお申し出下さい。

雲雷寺だより

○二月二三日十六時 雲雷寺応接室
第12期紹継塾の打合せを致しました。

○二月二六日

十一時 田村太郎様の葬儀を勤めました。

十四時 三月の盛運祈願祭を勤め、参詣者の家門繁栄と俱生霊神符着帯者の身体健全などを祈念しました。

また、それぞれのお家の事情で月詣りなどが出来ずに思案されている方のために、この盛運祈願祭にてご先祖や故人の御回向をさせて頂いております。詳しくは山主までお尋ね下さい。

○二月二七日

十三時 高祖日蓮大聖人第八〇〇回目のご降誕会を勤めました。

十四時 遠寿院荒行堂第参行ご成満、京都市善正寺ご住職峯村法応上人より水行や特別祈禱を受けました。なお、吉村彰史上人、宇野成信上人にお手伝いいただきました。

また、一般のご祈願に加え、日朝上人への祈願には、日朝水(目薬)の授与と、絵馬を奉納していただきました。

総供養施主

たいせんべい

当山

ミニ身延饅頭 雲雷寺役員会様

奉納施主

清酒 二本 雲雷寺役員会様



お中元御礼

いつも変わらぬご厚情に接し、有難く感謝御礼申し上げます。 山主合掌

お題目が書かれた経木をお求めの際は、雲雷寺へお越し下さい。1枚 100円にてお譲り致します。

※発送をご希望の方は、お電話にてご連絡頂ければ、対応致します。お支払いは、同封の振込用紙をお使い下さい。

TEL. 06-6761-2484

経木(水塔婆)の書き方について

毎年お盆の時期には、皆様のお仏壇の前に経木を書いて安置し、ご先祖様を心からおもてなし致します。経木をお書きになる際、下記の注意点をよく読んで下さい。

注意事項

- ・法華経での供養を表すため、経木の上には必ず「南無妙法蓮華経」の7文字を入れましょう。
- ・ご先祖様の1人でも存在しなければ、自分は生まれていません。自分が生まれるご縁を頂いたご先祖様全てを経木にお書きください。(過去帳・お位牌に記載されている方の全て)
- ・書き損じた経木はゴミ箱に捨てず、お盆明けに他の経木と一緒に雲雷寺へ納めて下さい。

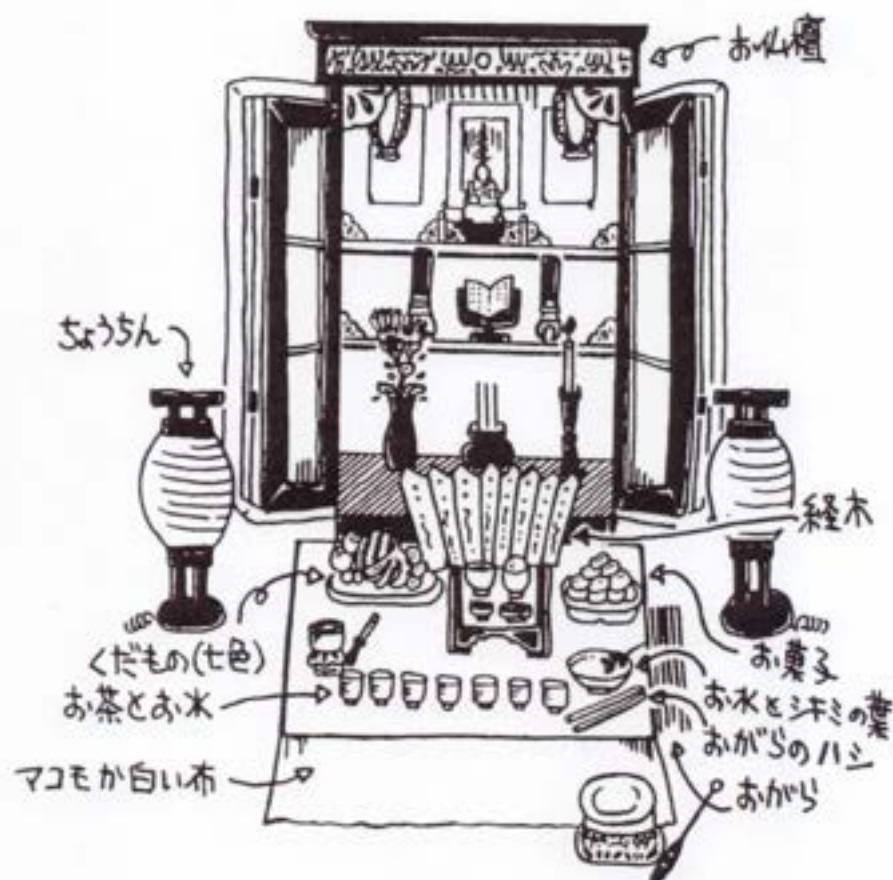
経木(水塔婆)具体例

- ※1 … 「自分にご縁のある人もそうでない人も、全員供養致します」という意味です。
お盆に必要な経木ですので、必ずお書きになって中心に安置して下さい。
- ※2 … 過去帳に法名・お名前が無い、遠いご先祖様を対象とした経木です。
- ※3 … 過去帳に法名のある方を書いた経木です。(1枚につき1人のみ記入可能・水子様も含む)
- ※4 … 法名は分からないが名前は分かる方を書いた経木です。
- ※5 … 法名が分からない水子様を書いた経木です。
- ※6 … 「愛犬・愛猫」等の名前を書いた経木です。



お仏壇の飾りつけ(お盆)について

毎年お盆の時期には、皆様のお仏壇の前に様々な供物を供え、ご先祖様に食べ物などをおもてなし致します。下記の説明にしたがって、お仏壇の前にお供え下さい。 ※あくまで下記は一例です。ご注意下さい。



飾りつけの一例

- ・お仏壇
- ・経木(水塔婆)
- ・ちょうちん
- ・マコモ(白い布)
- ・くだもの(7色)
- ・お茶とお水
- ・お菓子
- ・故人の好きな物
- ・お水とシキミの葉
- ・おがら
- ・おがらのお箸



飾りつけの詳細について

- ・お仏壇 …… 飾りつけの前に、隅々まで清掃しましょう。
- ・経木(水塔婆) …… 経木を書いて文字が見える様に置きましょう。書き方は裏面をご覧ください。
- ・ちょうちん(盆提灯) …… 先祖や故人の霊が迷わず帰ってくる目印として飾ります。
- ・マコモ(白い布) …… 理想は真菰(マコモ)ですが、なければ白い布を敷いて下さい。
- ・くだもの(7色) …… 万霊や故人の霊にお供えする物です。色の種類が多く、奇数の数が理想です。
(割り切れない=縁が切れない)

- ・お茶とお水 …… 万霊や故人の霊にお供えする飲料水です。
- ・お菓子 …… 万霊や故人の霊にお供えする甘味です。
- ・故人の好きな物 …… 故人が好きだった食べ物や飲み物をお供え下さい。
- ・お水とシキミの葉 …… 棚経の際、お坊さんによる特別供養に使用します。
- ・おがら …… 耐熱皿の上に置き、玄関先などで迎え火や送り火に使用します。
- ・おがらのお箸 …… 万霊や故人の霊が使用のお箸です。送り火の際に一緒に焚きます。

緊急事態宣言等 発令期間中の動き

こちらの御案内は以前お送りさせていただいた「緊急事態宣言等発令期間中の動き第2版」の「お盆版」ですので、併せてご確認ください、保管をお願い致します。

①本式・棚経について

皆様のご自宅へお伺いさせていただく「本式・棚経」ですが、「宣言」発令期間中はご遠慮させていただきます。ただし、施主様やご家庭の事情により特にお参りを希望される方のご相談はお受けさせていただきますので、その際は当山へご連絡下さい。

「措置」などの発令期間中は予定通りお伺いさせていただきます。

②略式・お寺で棚経について

ご自宅へ棚経にお伺いできない方の為の「略式・お寺で棚経」ですが、「宣言」並びに「措置」などの発令期間に関係なく、予定通りにお勤め致します。

③初盆について

ご自宅または本堂にてお勤めする初盆供養法要ですが、故人様にとって一生に一度しか訪れない重要な法要という観点から、「宣言」並びに「措置」などの発令期間に関係なく、予定通りにお伺い致します。

④初盆総供養について

初盆を迎えられた方から総供養料をお預かりし、当山にて用意させていただいた供物にて供養をする初盆総供養ですが、「宣言」並びに「措置」などの発令期間に関係なく通常通り申込受付を致します。

初盆総供養を申し込まれた方は、当山にて卒塔婆（6尺塔婆）を建立し、供養致します。卒塔婆料は総供養料に含まれますので、ご用意の必要はありません。

初盆総供養料

- 1万円の部 = 同じく1万円をお預かりした方々の連名にて供物をご用意
- 3万円の部 = 施主様のお名前にて供物を個別にご用意